

活動名称 (40字以内)	誰も知らない京都を作り出せ！～東大生しかつけれない旅行プラン@KYOTO～		
団体名等	東京大学三四郎会		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input checked="" type="checkbox"/> 就労体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	2～4 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
	<input type="checkbox"/> 研究室体験活動		
参加資格等	観光に興味がある人。就労体験の経験の少ない前期課程の学生を特に歓迎する。		
活動期間	8月中下旬 ～ (予定)	主な活動場所	一般社団法人PLACE他 京都府内各所
	6 日間		
目的	<p>2017年の訪日外国人観光客は過去最高の3200万人を更新し、世界から日本の観光業界へ熱い視線が向けられている。このことは日本に多大な経済効果をもたらすにとどまらず、異文化理解や地域の魅力の再発見にもつながっており、少子高齢化や財政問題など課題が多い今の日本において、観光産業は大きなポテンシャルを秘めているといえる。その恩恵は有名史跡や都市部にかぎらず、自然・名産・伝統技術等のリソースを有している「ローカルエリア」にももたらされており、むしろインバウンドのリピーター観光客の来訪はこういった地方エリアにおいて増加傾向にある。しかしながら、観光資源を持つ吸引力がこの潮流を生み出しながらも、狭隘な都市部においては、観光客と住民との共存に試行錯誤する課題も顕在化してきた。このことは、観光業界を考える上で、「都市」と「地方」、「観光」と「生活」を対立軸に見ながらより広い視野で考察すべき時機にあると考える。</p> <p>本企画は、「都市」「観光」として特徴的な京都市をフィールドとしてきたが、今回は京都北部をフィールドと設定した。「地方」「生活」の特徴を備え、かつ京都市との交流が過去から存在する稀有な特徴を備えた地域であり、国内からの交流人口の増に向けての取り組みも積極的である。本企画を通じて、これまでの活動の成果も活かしながらより広い視野で観光都市京都の魅力・可能性について学び、東大生である自分たちに何ができるのかを考える。また、その過程で深い洞察力や発想力、想像力を身に付ける。</p>		
具体的な内容 (800字程度)	<p>①事前研修プログラム ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の設定・共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会企画と合同でマナー/スキル研修を行う。 ・参加学生間で観光都市・京都についての勉強会、活動期間前半の訪問先についての検討を行う。</p> <p>②活動内容 昨年度に引き続き観光都市・京都＝「京都市」という構図を対抗軸に見ながら、京都府が市町村と連携して実施している「もうひとつの京都」である、京都府下にフィールドを拡大する。具体的には、京都府北部を舞台に、その地域で暮らす人々が地域活性化の観点で実践している取り組みに参加することを通じて、より個人・地域コミュニティ・コミュニティ間の連携という文脈で観光を考える。</p> <p>期間の前半は、地域活性化を担う各ステークホルダー(下を参照)を複数訪問し、多様なプレイヤーから京都北部の魅力と直面する課題について学ぶ。次に期間の後半には学生数名でグループを作り、旅行企画コンテストに参加する。ここでは受け入れ団体の下で、その活動に参画しながら前半で学んだことを生かすと共に、自らの発想力をフル回転させ、京都の外から来た学生として、具体的かつ現実的な真新しい旅行プランや観光振興イベントの企画にチームで挑戦する。</p> <p>企画で求められるものは、主催者から出題された極めて難易度の高い課題に答えるものであると同時に、1000年以上都であった京都を支えてきた丹後の奥深い魅力に迫ることができ、観光立国の実現を掲げる我が国において目指すべき方向性を指し示すものでなければならない。最終日には京都への提案としてチーム別プレゼンテーションを行い、京都の観光業界を代表する方々からフィードバックを得る。活動は他大生を含む多様な方々と共同で行い、彼らとの交流や意見交換を通じて、さらに多くの刺激と学びを得ることができよう。</p> <p>※訪問先の例 【オリエンテーション】福知山公立大学 地域経営学部 杉岡研究室(福知山市)、一般社団法人PLACE 等 【公的機関】施策の方針理解)海の京都DMO(宮津市) 与謝野町役場(与謝野町) 等 【地域におけるChange Maker】Tsuchica(京丹後市)、安田織物、柴田織物、まさ農園、与謝野娘酒造(いずれも与謝野町) 等</p> <p>★活動中の情報共有・メンタリング★ 参加学生と企画統括・卒業生メンターの間で、意見や情報の交換を行う。具体的な方法としては以下を想定している。 ・関係者によるFacebookグループ上での日報の投稿 ・統括によるメンタリング(週1回程度のSkype、企画統括が随行する場合は現地でも面談)</p> <p>③事後プログラム 活動終了後に、他の東京大学三四郎会企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。</p>		
備考	東京大学三四郎会は、「知の創造的摩擦プロジェクト」の共催や「ホームカミングデー」への協力など、東京大学の活動にボランティアにかかわっている東京大学の若手卒業生によるネットワークである。構成員は約700人で、30代が中心となっている。三四郎会では2013年度より、企画実行のため組織された現役東大生による学生団体UTミライウォーカーとの協力のもと、インターン企画をミライウォーカープロジェクトとして実施している。(本企画は、このネットワークを通じ、主に東大卒業生が受け入れを担当する。)		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 32,900 円	宿泊施設については概算(現在検討中)であり、参加学生と要相談。ルームシェアやホームステイの利用でさらに安く宿泊できる可能性もある。また、各施設入場料等が必要な場合もある。参加申請後、Skypeあるいは電話で順次面接を行う。	
	宿泊費 30,000 円		
	() 円		
	() 円		
	計 62,900 円	奨励金額	35,000 円
ウェブサイト等	<p>【一般社団法人PLACE】 https://www.place-design.jp/ https://www.facebook.com/place.yosano/ 【三四郎会Facebookページ】 http://www.facebook.com/todaisanshiro</p>		